

2006 年 6 月 30 日

BMW グループ ジャパン、阿部昇専務取締役をディーラー開発本部長に任命 正規ディーラー・ネットワークを戦略的に強化

ビー・エム・ダブリュー株式会社(本社:千葉市美浜区中瀬 1-10-2、代表取締役社長:ヘスス・コレドバ)は本日、現在、同社の専務取締役 ファイナンス&IT 本部長である阿部昇が、7月1日付で、専務取締役 ディーラー開発本部長に就任する人事を発表しました。これと同時に、現在営業本部の中にあるディーラー開発ディビジョンは、営業を離れ、社長直轄の独立部門となります。

今回の人事及び組織変更は、BMW グループ ジャパンの長期戦略の要をなす、正規ディーラー・ネットワーク強化戦略の一環として行われるものです。阿部昇の後任には、マーティン・ネレン(現 BMW US Capital 社長)が、7月1日付でファイナンス&IT 本部長に就任します。

新職務において阿部昇は、BMW 及び MINI 正規ディーラーに対する総合的コンサルテーションを担当するチームを率いることになります。具体的には、人材管理から、経営改善、財務計画及び管理等まで幅広い分野にわたり、ディーラーに対して総合的に助言を行います。弊社では、このディーラー開発本部を陣容を一新して独立部門として発足させることにより、ビジネス・パートナーである正規ディーラーに対して、よりいっそう充実した支援体制を提供する考えです。

「2000 年以降、BMW グループ ジャパンはプレミアム・ブランド戦略のもと、製品攻勢及び市場攻勢を推進してきましたが、その戦略が正しかったことは、何より、結果が証明しています。弊社が設立 25 周年を迎える記念すべき年に、いっそうの改善を推進する機会に恵まれ、非常に嬉しく感じます」と、コレドバは述べています。

阿部昇は、1993 年に管理本部長に任命されて以来、一貫して財務部門の最高責任者を務めてきました。その間、BMW ジャパン自体も BMW のアジア展開の要として、販売及び収益の双方の面で大きく飛躍を遂げました。

「阿部氏が弊社で発揮した財務的手腕は、今度は、ディーラーの財務強化および改善において発揮されることになるでしょう。そのうえ、阿部氏は弊社で最もディーラーに対して知名度の高い人物でもあり、今回の職務には最高の人選であると自負しています」とコレドバは締めくくりました。

添付資料 : 阿部昇略歴
 M.ネレン略歴

ビー・エム・ダブリュー株式会社について(2006年3月31日現在)

ビー・エム・ダブリュー株式会社は、ドイツ・バイエルン州ミュンヘン市に本社を置くプレミアム・ブランドに特化した、グローバルな自動車メーカーである BMW AG (Bayerische Motoren Werke Aktiengesellschaft) の 100% 出資子会社で、欧洲自動車メーカー初の全額出資子会社として、1981 年に日本に設立されました。以来ビー・エム・ダブリュー株式会社は、当時は珍しかった専売店網の構築に始まり、低金利ローンや認定中古車制度など、さまざまな業界標準を築き、製品、サービス、顧客満足の分野において常に輸入車業界をリードしてきました。ビー・エム・ダブリュー株式会社は全国の 279 (BMW: 187、MINI: 92) の正規ディーラー ショールームを通じて BMW と MINI 製品の販売とアフターセールスを提供しています。また、BMW Motorrad (オートバイ) の製品・サービスは、自動車同様、専売店ネットワークを通して提供しています。

ビー・エム・ダブリュー株式会社は、2005 年には同社史上最高となる 58,582 台 (BMW: 44,980 台、MINI: 13,602 台) の新車を販売しました。また、BMW Motorrad は、2,681 台を全国のお客様にお届けしています。

ビー・エム・ダブリュー株式会社は現在 277 人の従業員を雇用しており、関連子会社に金融サービスを提供するビー・エム・ダブリュー・ジャパン・ファイナンス株式会社と、直営販社であるビー・エム・ダブリュー東京株式会社を有しています。